

平成29年3月期決算発表 補足資料

平成29年4月28日
日本ガイシ株式会社

□ はH29/1公表値

	28年3月期 通期 実績		29年3月期 通期 実績		前期比	30年3月期 通期 見通し		前期比
	億円	構成比	億円	構成比		億円	構成比	
売上高合計	4,358	100%	4,013	100%	△8%	4,200	100%	+5%
<海外売上高合計>	<3,091>	71%	<2,881>	72%	△7%	<2,900>	69%	+1%
営業利益 (%)	(19%) 809		(16%) 632		△22%	(16%) 670		+6%
電力関連事業	835	19%	528	13%	△37%	570	14%	+8%
営業利益 (%)	(3%) 26		(-) △66		-	(-) △30		-
セラミックス事業	2,511	58%	2,452	61%	△2%	2,490	59%	+2%
営業利益 (%)	(28%) 707		(26%) 646		△9%	(24%) 605		△6%
エレクトロニクス事業	1,014	23%	1,035	26%	+2%	1,140	27%	+10%
営業利益 (%)	(8%) 77		(5%) 53		△32%	(8%) 95		+81%

セグメント間売上消去

△ 3

△ 3

		(売上高比)		(売上高比)	前期比		(売上高比)	前期比
経常利益	815	(19%)	646	(16%)	△21%	680	(16%)	+5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	533	(12%)	364	(9%)	△32%	450	(11%)	+24%
ROE	13.3%		8.8%			10.5%		
1株利益	163.28円		112.71円			139.91円		
配当金(配当性向)	38円(23.3%)		40円(35.5%)			42円(30.0%)		

設備投資	454	(10%)	601	(15%)	+32%	860	(20%)	+43%
減価償却費	274	(6%)	266	(7%)	△3%	310	(7%)	+16%
研究開発費	174	(4%)	187	(5%)	+7%	215	(5%)	+15%

為替レート(円/USD)

120

109

105

為替レート(円/EUR)

132

119

115

平成29年3月期 実績 … 前期比 減収・減益

① 業別業績概況(売上高・営業利益)

【電力関連】……………減収・赤字

- ・がいし 国内取替需要が堅調に推移した一方、北米の需要低迷に加え、中東・アジアの大口案件の遅延により、減収・赤字。
- ・NAS 国内外共に大口案件の出荷がなく減収・赤字。

【セラミックス】……………減収・減益

- ・自動車関連 欧州市場の乗用車販売が堅調に推移したほか、中国市場で小型乗用車向け減税策による販売増や過積載車両の取り締まり厳格化に伴うトラック販売増などから物量が増加したが、円高により減収。開発費・立上げ費用等も増加し減益。
- ・産業プロセス 国内・中国の客先で車載用リチウムイオン電池関連の投資が増加し、加熱装置を中心に増収・増益。

【エレクトロニクス】……………増収・減益

- ・半導体製造装置用製品 半導体の高積層化・微細化を背景に、半導体メーカーやファウンドリの設備投資が高水準で推移しており、製造装置向けの物量が増加し増収・増益。
- ・電子部品 中国の携帯基地局投資の回復遅れによりパッケージ製品の需要が減少し、減収・赤字。
- ・金属 中国市場の産業機器向けを中心に需要が堅調で増収となったが、円高等により減益。

② 為替影響

- ・前期比 売上高 △195 億円、営業利益 △81 億円
(前期 120 円→当期 109 円/USD、132 円→119 円/EUR)

③ 特別利益 投資有価証券売却益 52 億円を計上。

④ 特別損失 競争法関連損失引当金繰入額 63 億円、固定資産減損損失 42 億円を計上。

⑤ 法人税等 移転価格課税の更正処分を見込み過年度分 112 億円を計上。

⑥ 配当 期末 20 円 (中間 20 円とあわせ年間 40 円、前期比+2 円)

平成30年3月期 見通し … 前期比 増収・増益の見通し

① 事業別業績概況(売上高・営業利益)

【電力関連】……………増収・赤字縮小

- ・がいし 中国市場向け等の出荷増を見込み増収。国内の生産体制を縮小し黒字化を目指す。
- ・NAS 売上は低調も、事業運営体制をスリム化し赤字を縮小する。

【セラミックス】……………増収・減益

- ・自動車関連 中国市場のトラック販売増や、欧州の排ガス規制強化により自動車関連製品の需要が増加。開発費・償却費増等により減益の見通し。

【エレクトロニクス】……………増収・増益

- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーやファウンドリの設備投資が引き続き高水準で推移し増収・増益の見通し。
- ・電子部品 モバイル通信向け高性能フィルターの市場拡大を背景に、複合ウエハー製品の需要が増加。パッケージの需要は横這い。コストダウンにより赤字縮小を見込む。

② 為替影響

- ・前期比 売上高 △72 億円、営業利益 △24 億円
(前期 109 円→当期 105 円/USD、119 円→115 円/EUR)

- ・年間1円当たりの影響 USD(売上高 12 億円、営業利益 6.1 億円)
EUR(売上高 6 億円、営業利益 1.0 億円)

③ 配当予想 中間 21 円、期末 21 円(年間 42 円)

	28年3月期 第2四半期累計期間		29年3月期 第2四半期累計期間		30年3月期 第2四半期累計期間		前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比	見通し	構成比	
	億円		億円		億円		
売上高合計	2,106	100%	1,943	100%	2,050	100%	+6%
<海外売上高合計>	<1,570>	75%	<1,401>	72%	<1,400>	68%	△0%
営業利益(%)	(20%) 413		(18%) 343		(16%) 330		△4%
電力関連事業	338	16%	264	14%	280	14%	+6%
営業利益(%)	(1%) 4		(-) △28		(-) △20		-
セラミックス事業	1,228	58%	1,193	61%	1,230	60%	+3%
営業利益(%)	(28%) 350		(29%) 351		(25%) 305		△13%
エレクトロニクス事業	541	26%	486	25%	540	26%	+11%
営業利益(%)	(11%) 60		(4%) 19		(8%) 45		+135%

セグメント間売上消去

△ 1

△ 1

		(売上高比)		(売上高比)		(売上高比)	前年 同期比
経常利益	403	(19%)	324	(17%)	315	(15%)	△3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	275	(13%)	217	(11%)	200	(10%)	△8%

設備投資	207	(10%)	309	(16%)	460	(22%)	+49%
減価償却費	135	(6%)	128	(7%)	145	(7%)	+13%
研究開発費	80	(4%)	87	(4%)	100	(5%)	+15%

為替レート(円/USD)

122

106

105

為替レート(円/EUR)

135

119

115